

# 昭和

# 議会だより

第

# 51

号

平成21年7月25日 6月定例会

＜群馬県昭和村議会＞

2 凸凹道路改修に大型補正

2 6月定例会で決めたこと

9 追跡シリーズ8 あの問題は今



# 「定例会」

## 6月定例会

6月定例会は、6月11日(木)から17日(水)までの、7日間の会期で開催されました。

諮問1件、報告1件、議案8件が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

最終日の一般質問では2名が登壇し、村の姿勢を問いました。

### 条例一部改正

#### 国民健康保険税条例

医療費の伸びを考慮して基礎課税額及び後期高齢者支援金等の改正を行うもの。(賛成10・反対1)

#### 福祉医療費支給に関する条例

医療費無料化を中学卒業まで拡大するための改正を行うもの。(全員賛成)

### 人事

人権擁護委員に織田澤寛示氏を推薦



織田澤寛示氏  
(椽久保南部)

公平委員会委員に堤康泰氏を選任



堤康泰氏  
(森下中組)

固定資産評価審査委員会委員に鈴木昭夫氏を再任



鈴木昭夫氏  
(椽久保北部)

固定資産評価員に加藤生氏(税務課長)を選任

## 村内凸凹道路改修に

## 大型補正予算



### 補正予算

#### 一般会計(第1号)

1億3,697万5千円追加

#### 総額

36億2,547万5千円

#### 補正の主な内容

(全員賛成)

#### 歳入

○地域活性化・経済危機対策臨時交付金

1億1,025万2千円

#### 歳出

○村道維持補修工事

7,500万円

○昭和中学校の校舎並びに体育館屋根塗装工事

2,348万4千円

○小規模土地改良事業

1,000万円

老人保健特別会計(第1号)

707万円追加

#### 総額

862万6千円(全員賛成)

### 報告

土地開発公社の財政状況報告

### その他

昭和村営苗畑土地改良事業の施行について

国より買収した土地について区画整理及び農道工事等を行うもの。(全員賛成)

# 臨時会

5月27日(水)、第13回議会臨時会が開催されました。承認4件、報告2件、議案2件、議員発議1件が提出され、すべて原案のとおり承認・可決されました。

## 専決処分

### 税条例の一部改正

(全員賛成)

平成20年度一般会計予算のうち繰越明許費として2億5,725万8千円が翌年度へ繰越されました。

### 国民健康保険税条例の一部改正

(全員賛成)

#### 繰越された主なもの

○定額給付金事業

1億2,705万7千円

○村道改良及び維持補修工事費

1億937万2千円

○消防団詰所整備工事費

1,312万5千円

平成20年度一般会計補正予算  
9,971万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ総額39億342万7千円とする。  
(全員賛成)

#### 後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書

平成20年度後期高齢者医療会計予算のうち繰越明許費として131万2千円が翌年度へ繰越されました。

平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算  
3万7千円減額し、歳入歳出それぞれ6,559万8千円とする。  
(全員賛成)

## 条例一部改正

特別職の職員で常勤のもの  
の給与及び旅費に関する条例

平成21年度6月に支給する期末手当を0.2か月分減額するもの。  
(全員賛成)

#### 職員の給与に関する条例

平成21年度6月に支給する期末手当及び勤勉手当を減額するもの。  
(賛成10・反対1)

## 発議

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

平成21年度6月に支給する期末手当を0.2か月分減額するもの。  
(全員賛成)

## 報告

一般会計繰越明許費繰越計算書

#### 繰越された主なもの

○システム改修委託料

131万2千円

## 議会の動き

### 4月

29日 ●「昭和の日」記念イベント

### 5月

12日 ●春の道路愛護巡視

14日 ●定例議長会  
●利根沼田学校組合協議会  
●利根沼田学校組合臨時会

18日～ ●議会広報編集特別委員会視察研修(新潟県聖籠町)

19日～ ●全国町村議会議長・副議長研修会

22日 ●利根地方総合開発協会理事会及び定期総会

23日 ●議会全員協議会

27日 ●第13回昭和村議会臨時会

28日 ●広域圏組合議会臨時会  
●沼田市外二箇村清掃施設組合議会臨時会

31日 ●県民スポーツ祭オープニング大会

### 6月

1日 ●昭和村敬老会

1日～ ●群馬県町村議長・事務局長研修会

3日 ●議会運営委員会

7日 ●利根沼田消防ポンプ操法競技会

11日 ●第14回昭和村議会定例会本会議  
●議会全員協議会

●議会広報編集特別委員会

12日 ●総務民生常任委員会

15日 ●文教産建常任委員会

17日 ●本会議(最終日)

19日 ●花いっぱい運動(サルビア苗植え)

22日 ●議会広報編集特別委員会

### 7月

3日 ●議会広報編集特別委員会

6日～ ●議会視察研修(北海道)

9日 ●議会広報編集特別委員会

13日 ●定例議長会  
●広域圏議員協議会

17日 ●ふるさと大使との情報・意見交換会

23日 ●茨城県城里町議会来村

# 特養菜の花館20、30の増床計画陳情は採択

## 総務民生常任委員会

6月12日に行われた総務民生常任委員会では、菜の花館と岩本駅前駐車場の現地調査を行った後に付託された請願・陳情各1件について審査を行いました。

まず、継続審査となつている生越地区からの請願では、防火水槽の蓋の設置を願うものですが、その容量が少ないこと、近くに防火水槽や消火栓も整備されて

いること、また改修等に対する地元の見も分かれていた。現在の事業実施は難しいという判断になりました。



菜の花館の増床予定地

次に、特別養護老人ホーム菜の花館の増床に関する陳情書では、現地で現在の運営状況、待機者数、今後の施設利用予想及び増床計



岩本駅前駐車場

画の説明を受けました。今後予想される利用者の増加等を考慮し、全会一致採択といたしました。

次に、岩本駅前駐車場の現地調査では、ほぼ100%の利用率で、あと3年で黒字になる予定との説明を受けました。

## みなさんからの請願・陳情

自 平成20年11月21日 至 平成21年6月1日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
44	H20.11.21	請願書 防火水槽開口部の蓋設置について	平成20年度 生越区長 林 節雄	林 幸司 横坂先夫	総務 民生	審議 未了
48	H21.6.1	特別養護老人ホーム菜の花館の増床に関する陳情書	社会福祉法人 なごみの杜 理事長 西松 輝高 特別養護老人ホーム菜の花館 施設長 西松 陽子		総務 民生	採択

# 昭和中屋根塗装工事を計画

## 文教産建常任委員会

6月15日、本委員会では請願陳情ともに1件もないことから、前回調査した東小、南小に引き続き、今回は大河原小、及び昭和中の巡回調査を行いました。

まず最初に大河原小の授業参観を行いました。現在児童数51名、1年生から6年生まで1クラス10人前後であり一人一人に目が行きとどき良い教育環境にあると思われます。



大河原小学校5年生の授業風景

学校施設調査においては、体育館の耐震改修工事の実施状況等の調査を行いました。

昭和中は、学校施設のみの調査となりました。

校舎、体育館共に20年が経過しており、内外共に補修していかねばならない状態です。今回補正予算で行う、校舎と体育館屋根塗装工事予定現場を重点的

に調査しました。また校庭の周りに植えられたポプラ並木が近隣民家のトヨのつまりなどの被害を与えており、その対策が望まれています。



補修工事が予定されている昭和中学校

6月11日、本会議終了後第3会議室にて左記の議題について慎重審議されました。

①特別養護老人ホーム菜の花館の増床に関する陳情書について

菜の花館は当初より20、30の増床を念頭に建設されており、敷地内にはスペースが確保されているとのこととす。建設資金は、国の補正予算「老人福祉施設等施設整備事業」を利用することのことです。

②昭和村営苗畑土地改良事業について

この事業の施行に当たり本村議会の議決を求めなければならず、村当局より事業計画の概要説明がありました。それによると整地工(農地)18・4畝、標準区画(100m×50m)幹線道路6mアスファルト舗装、支線道路4m砂利道、獣害防止柵の設置等の説明がありました。

③畜産農家の排水状況について

近年乳用牛の多頭化が進み、堆肥等の野積みが問題視されたが、国の補助事業等の導入により、堆肥処理施設が完成し、大きな効果をもたらしている。

今回排水処理対策を重点に5軒の酪農家を調査しました。各酪農家とも独自の処理施設を持ち、適正に管理されていましたが、引き続き適切な管理をお願いしました。



全員協議会

常任委員会のひいり物

# 一般質問

## 「昭和村の生活環境を保全する条例」 制定について

村長 住民の環境に対する意識等を  
踏まえ検討していきたい



高橋幸一郎 議員

### 問

廃掃法には不法投棄の禁止、不法焼却の禁止、罰則等が規定されており、違反者には5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金、又は併科されます。法人の場合には、1億円以下の罰金が科されます。不法投棄、ポイ捨ては知らなかったでは済まされない大きな犯罪行為です。村としても県や県警と連携し大気、水、土壌等の自然環境を守り不法投棄の撲滅を図るために「生活環境を保全する条例」を早期に制定する必要があると思うが。

### 答 村長

現状では、県の生活環境を保全する条例に基づき対応をしていきたいと考えております。

村独自条例の制定につきましては、住民の環境に対する意識等を踏まえ、今後、検討をしていきたいと考えております。



### 「ふれあいグリーンパーク」の活用について

### 問

ふれあい広場ゾーンの円形広場にある水辺は、非常に小さく子供たちが遊ぶ事のできない状態です。流れを体験でき、多少でも魚やホタルが見られるような施設が欲しいそうです。そして「ふれあいの公園」という意味合いからする

と、うさぎなど動物と直接ふれあえる体験ができることも、幼児教育にとつて大切なことであり、生きることを五感で感じるやさしい心を育てるために必要があると思うが。

### 答 村長

子育てにやさしい昭和

### 答 教育長

幼児教育を含め、小中

### 職員の資格認定促進を求めます。

### 問

平成19年度の手当制度の状況をみると、職員の能力を發揮すべき資格手当が見当たりません。

### 答 村長

本村の支給する手当は、厳しい財政状況の中、特に県下でも希な、住居手当の支給を停止するなど、極めて少ない数となっております。資格手当についても支給していません。

毎年増加する委託料により財政は厳しい状況となっております。なぜ委託しなければならぬのか、委託する必要があるのかよく考え、改善する必要があると思います。そして、資格取得者の不足から移動範囲が限定され、長期にわたり同じ課に在籍する、膠着人事の弊害があることも事実です。この問題を解決するためにも、職

学校の学校教育においても、動物や自然と直接的にかかわり、ふれあうことは、極めて重要なことであると考えております。ふれあいグリーンパークを訪れる人たちが快適に過ごせるよう、今後も努力してまいりたいと考えております。

今後適正な職員配置を心がけ、必要不可欠な資格については、引き続き、支援を行っていくところであります。

# 姿勢問う

## 企業の農地所有すすめる改悪「農地法」

村長 大きな影響がでると懸念している



林 幸司 議員

**問** 子どもの貧困率が15%と深刻です。村独自でも就学援助の拡充と、義務教育無償にふさわしい保護者負担の軽減を求めます。

### 就学援助の拡充と保護者負担の軽減を

**答** 要保護・準要保護世帯が17世帯と年々増加傾向にあり、教育の機会均等の重要性に鑑み、必要な

子どもたちが必要な援助を受けられるよう適切な実施に努力してまいります。家庭の経済的状况等により教育に格差が生じな

いよう、今後とも努力してまいります。

**問** 営利企業の農地所有に道を開く農地法改悪法案（参院審議中）にキッパリ反対を求めます。

**答** 村長

耕作者自らが所有すること、今日の家族経営中心の農業基盤ができた。農地法改正案の最大のポイントは、営利企業の農地利用自由化、農業参入だと認識しており、地域の農業法人や家族経営農家との競合を招き、本村の農業形態及び優良農地に大きな影響がでるものと懸念している。株式会社にて農地所有を認めることは、更に大きな問題になると危惧しています。

**問** 総選挙目当ての15兆円ものバラマキは問題ですが、可決された以上は有効活用を求めます。

**答** 村長

政状況を見ながら、役場庁舎、社会体育館、昭和の森山荘の耐震診断・改修に努めていきたいと考えております。

**答** 教育長  
各小中学校への太陽光

パネルの設置は必要と考えますが、場所や降雪等の問題もあり、今後、検討していきたいと考えております。

### 経済危機対策交付金の活用で 役場庁舎の耐震改修と各学校に太陽光パネル設置を



大河原小学校に設置された風力太陽光発電機

### 議会広報視察研修



5月18日、新潟県聖籠町<sup>せいろう</sup>広報編集委員会への視察研修を行いました。

聖籠町の人口は14,000人、面積37.9km<sup>2</sup>で豊かな穀倉地帯と豊富な果樹栽培が盛んな農業地域で、隣接して新潟東港(特定重要港湾)があり、多くの企業が進出し財政力も豊かな自主自立のまちづくりを進めている。サッカーJ1「アルビレックス新潟」のホームタウンでもあり、スポーツの盛んな町である。

聖籠町議会だよりは、昭和63年2月に創刊されてから全国コンクールにおいて数々の賞を受賞しており、議長さんをはじめ広報委員の皆さんの丁寧な説明を受け、昭和村にない多くを学び、意義ある視察研修ができました。

### 花いっぱい運動

6月19日、毎年恒例のサルビア苗の植え付けが総合運動公園西側の望郷ライン沿いで行われました。

村づくり協力委員さんと村長、企画課職員、議会等の皆さんと、2時間ほどで、サルビア苗10,000本ほど植え付けました。数か月すると体育行事や望郷ラインを通行する皆さんの目を楽しませてくれると思います。



村づくり協力委員の皆さん

### 沼田利根議長会視察研修報告

4月14日、沼田利根議長会では薬草トウキの研修で、株式会社ツムラ茨城工場と千葉大学園芸フィールド研究センターを視察してきました。



薬草トウキ

ツムラでは契約栽培をしている漢方薬の製造課程や流通の研修、千葉大学では大型育苗施設とハウス栽培を視察。トウキの栽培は、アスパラガスの栽培に類似し、根株

を養成して、秋に掘取り乾燥して製薬会社へ出荷し、10ヶ当たり20万円くらいの純利益が上がるそうである。

トウキの効能は補血、鎮痛、血行障害、冷え性と、特に婦人病に効果があるとのこと。今までは中国から85%の原料輸入をしていたが、今後は100%の国内契約栽培をして安定的な原料確保を計りたい。利根沼田地域では遊休農地の減少、こんにゃくや野菜の連作障害への対応、有害鳥獣対策、WTO対策等が考えられる。これらを踏まえ、これから薬草栽培も一考したらどうだろうか。

遺跡シリーズ 8

# あの問題は



昭和インターより望郷ラインまでの道路改修について

(平成16年3月定例会一般質問)

**問** 望郷ラインの開通に伴い、大型自動車や観光バス等の交通量も、増加することが予想されます。現在の幅員では、インター付近の道路としては、とても中途半端な道路状況でありますので、県道昭和インター線と同規模の拡幅、改修をしていただきたい。

**答** 望郷ライン等の全線開通をはじめとする、開発事業等の進展による、交通量のより一層の増加が予想され、早急に歩道や信号機等の交通安全施設も含めた、拡幅改良が必要であると認識しております。関係機関と協議をし、財政状況等を十分に勘案し、国庫補助事業を活用して、早期に検討していきたい。

## その後

村道森下赤城原線の道路改良工事を平成18年度より地権者の皆様のご協力により、地方道路整備臨時交付金事業として、現在実施している状況であり、工事完成については、平成21年10月頃を予定しております。



工事前の状況



拡幅工事の状況

議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

# 地域でがんばる人

## 森林ボランティアで充実の日々

菅野 三男さん (永井上組)



定年を機に東京都板橋区から昭和村に転入して三年になります。移転動機は自然豊かな地域で第二の人生を過ごしたいと言うことで、配偶者に同意を得ることもできました。移転準備は地球緑化センターの会員になり、各地の間伐や下草刈り等ボランティア活動に参加し、準備しました。

昭和村には私の求めていたボランティア組織がありませんでしたので役場及び関係の方々に相談し、ご理解を得ることができ活動の道が開けました。

活動の内容は、村有林の檜林や雑木林の下草刈り・間伐、コナラやクヌギの苗木の養成、ワラビ畑の育成や貸し農園周辺の草刈り等で楽しい日々を過ごしております。欲を申せば、地域の皆様と一緒に活動し汗を流したいと思っています。



## 夏の健康レシピ

### 材料(4人分)

モロヘイヤ…60g、ベーコン…1枚(20g)、玉ねぎ…40g、にんじん…40g、干し椎茸…2枚、塩・こしょう…少々、ニンニク…1カケ、しょうが…½カケ、長ねぎ…20g、コンソメ…1個、油…大さじ1(13g)、水+戻し汁…3カップ強

### 作り方

- ①モロヘイヤは固い部分を切り落とし、さつと茹でて1cm長さに切る。
- ②ベーコン、玉ねぎ、にんじんは細切り、干し椎茸は水で戻し、細切りにする。(戻し汁はとっておく)
- ③ニンニク、しょうが、長ねぎはみじん切りにする。
- ④鍋に油を熱し③を炒めて香りが出たら②を加え軽く炒め水と戻し汁とコンソメを入れて煮込む。
- ⑤野菜が煮えたらモロヘイヤを入れて、塩、こしょうで味を調える。



モロヘイヤのスープ

### ワンポイントアドバイス

・モロヘイヤはカルシウム、ビタミンA・B<sub>2</sub>・C・Eやカリウムが豊富です。たくさん食べて夏に負けない体を作りましょう。

### 栄養価(1人分)

熱量…75kcal、たんぱく質…2.2g、脂質…5.3g、カルシウム…178g、鉄分…0.3mg、塩分…1.0g

## 編集室から

国は不況不景気のあおりを受け、景気対策の大型補正予算を組み、ばらまきに走り、かたや政権交代といきまき、国民不在そっちのけの、我田引水のごとく永田町の空は異常気象のように映る。

そこへ行くところの空は、澄み渡って綺麗だが元気がない。この困難な今、どう切り抜けるか悶々の中、思い出すのが、どん底の窮乏から見事立ち直した、かの上杉鷹山公である。「そこに暮らす民百姓が主人公である。我らはその家臣にすぎない。これを以て政行えば必ず藩は復興する。」人を思いやる・いたわる心である。そうだ今放映中のNHK大河ドラマ「天地人」の直江兼続の愛である。直江兼続は我が昭和村にも来たと言われている。

愛を掲げて村づくりに挑めばこれから更に自主自立の道は長く続くと思うのである。

倉澤俊雄 記

### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 倉澤 俊雄  
副委員長 真下 明雄  
委員 高橋 昇三 横坂 先夫  
治田 貞賢 中里 信幸  
金井 正夫 金子松二郎